

一日の乗車人員 42 万人超の巨大ターミナル JR横浜駅ホーム上でテロ災害(火災・負傷者多数)対応 訓練を実施します！！

国際的大規模イベント（第7回アフリカ開発会議、ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピック）の開催を控え、JR横浜駅ホーム上でテロ災害が発生した想定での合同訓練を実施します。この訓練により、さらに関係機関が相互に連携し、被害の軽減及び即応体制の強化を図ります。

1 実施日時

令和元年5月24日（金）
午前10時40分から午前11時20分まで

2 場所

JR横浜駅（西区高島2-16-1）
5・6番線（東海道本線下り）ホーム（南側）

3 参加機関（5機関 計100名）

- (1) 東日本旅客鉄道㈱横浜駅
- (2) けいゆう病院 ※¹DMAT
- (3) 神奈川県戸部警察署
- (4) 神奈川県警察鉄道警察隊
- (5) 西消防署・西消防団

4 想定

駅のホームにおいて、テロリストが刃物を振り回すことで負傷者が発生し、併せて、可燃物に火をつけ火災が発生した。

5 訓練内容

- (1) 東日本旅客鉄道㈱横浜駅員による、通報・避難誘導及び救護活動
- (2) DMATによる応急救護活動
- (3) 戸部警察署、鉄道警察隊による犯人確保
- (4) 消防隊等による初期消火及び集団救急事故(トリアージ)対応訓練



訓練イメージ

※¹DMAT（Disaster Medical Assistance Team）

専門的な訓練を受けた医師・看護師・事務調整員などからなり、災害発生直後から活動できる機動性を備えた医療チーム

6 会場案内図



7 取材について

- (1) 取材を希望される場合は、令和元年5月22日（水）16時までに、下記問合せ先までご連絡のうえ、当日は10時20分までにJR横浜駅南改札（相鉄線寄り）へお越しください。
- (2) 訓練会場は電車運行中のホーム上を一部規制して行うため、撮影等に関しては安全確保の観点から、係員の指示に従っていただきます。
- (3) 災害の発生や天候等により訓練を中止、又は一部縮小する場合があります。その際は、事前に取材の申し込みをいただいた方へご連絡します。

お問合せ先

消防局西消防署警防第二担当課長 岩永 正己 Tel 045-313-0119（内線 24）